

令和3年3月議会

生活環境委員会 参考資料

- ・福岡市道路整備アクションプラン2024策定に係る市民意見募集

市民意見募集における意見要旨と原案への対応について（案）

令和3年3月

道路下水道局

■ 意見要旨と対応

- 修正 …意見の趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり …原案の修正がないもの
- 記載あり …意見の趣旨がすでに原案に盛り込んであるもの

分類	No.	意見要旨	対応
計画全般 (9件)			
	1	財源確保に努めていることを市民に示しつつ、部局間で連携し予算確保をおこなうべき。	原案どおり
	2	福岡市道路整備懇談会には、日常的に道路整備や維持管理に携わっている土木技術者(発注者・受注者)を参加させるべき。	原案どおり
	3	アクションプランで順調に進行したもの、そうでないもの、引き続き実施していくもの及び、新たな視点で取り組むものなどについて記述して欲しい。 また、現計画で大きく対策が遅れた「橋梁の長期寿命化修繕計画」について、今後の具体的な取り組みを示して欲しい。	原案どおり
	4	データの収集・把握・分析が非常に重要となることから、今後、道路整備に関する定期的な調査を実施すべき。	原案どおり
	5	福岡の都市部や住宅地の道路の将来像が見えにくいので、絵などでわかりやすく示して欲しい。	原案どおり
	6	福岡市道路整備懇談会は、コロナ禍において、テレビ会議が実施できなかったのか。	原案どおり
	7	全ての写真に説明書きを記載して欲しい。	●修正
	8	SDGsのピクトグラムを掲示しているのは良いが、取り組み内容の説明を記載して欲しい。	●修正
	9	資料の解像度が悪いので改善して欲しい。	●修正
ビジョン1:ユニバーサル都市・福岡を実現する道づくり(42件)			
柱1:人に優しい道づくり (23件)			
	10	トラックが通行しても安全が確保されるよう、生活道路においても道路の拡幅をして欲しい。	記載あり
	11	路側のカラー化は、車道と路肩がフラットな状態であり、自動車の離合時など未就学児の安全は確保されるのか。	記載あり
	12	交差点で信号待ちをしている歩行者の立ち位置が車道に近く、自動車による巻き込み事故の防止のため、歩道と車道を区分して欲しい。	記載あり
	13	歩道がない場所は、子供を連れて歩く際に注意をはらう必要があるため、ガードレールを設置して欲しい。(早良区城西周辺)	記載あり

- 修正 ……意見の趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり ……原案の修正がないもの
- 記載あり ……意見の趣旨がすでに原案に盛り込んであるもの

分類	No.	意見要旨	対応
柱1：人に優しい道づくり（23件の続き）			
	14	歩道と車道を分離することが最善であるが、道路が狭く、車の交通量が多い箇所は、時間帯の一方通行などをして交通量を減らす対策を警察と協議すべき。	記載あり
	15	福岡市の現状を踏まえた、児童等の安全対策を実施して欲しい。	記載あり
	16	交通事故件数が多い自転車と歩行者や、高齢者に関する交通安全対策を実施して欲しい。	記載あり
	17	通学路の安全対策は、路側のカラー化だけではなく、歩道と車道の間に防護柵を設置して欲しい。	記載あり
	18	通学時だけでなく、公園へ遊びに行く際など、子供が安心して歩ける歩道の整備などを行い、子育てがしやすい環境を整えて欲しい。	記載あり
	19	一方通行の狭い道路は、車との距離が近く危険である。特に子供が安心して歩ける対策を実施して欲しい。	記載あり
	20	歩道の勾配をなくし、ベビーカーを押しやすくして欲しい。	記載あり
	21	引き続き、道路のバリアフリー化を推進して欲しい。	記載あり
	22	マウンドアップ型の歩道は、ベビーカーを押し歩くのが大変なので、道路のバリアフリー化を推進して欲しい。	記載あり
	23	生活道路では、マウンドアップ型の歩道が多く、子どもが歩きにくい。	記載あり
	24	植栽付近に、地域のコミュニティのための休憩スペース(屋根付きベンチや掲示板など)を設置して欲しい。	原案どおり
	25	ベンチ等の休憩施設に、天候対策を考慮して欲しい。	原案どおり
	26	道路ベンチの設置推進も良いが、屋内休憩施設の設置も重要。ベンチはコスト面に優れるが、歩道の障害となるのではないか。	原案どおり
	27	バス停のベンチとその他の道路上のベンチについて、明確に区分けした方が良い。	原案どおり
	28	高齢者が散歩をする際に、歩道に休憩できるベンチが設置してあると安心できるので、道路のバリアフリー化を進めて欲しい。	記載あり
	29	「機能優先」の道づくりから、安全・安心に”健康”の視点をプラスした道づくりに取り組んでほしい。	●修正

- 修正 ……意見の趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり ……原案の修正がないもの
- 記載あり ……意見の趣旨がすでに原案に盛り込んであるもの

分類	No.	意見要旨	対応
柱1：人に優しい道づくり（23件の続き）			
	30	ベンチの設置など、気軽に外出ができ、日頃から健康になれるような道路整備に取り組んで欲しい。	●修正
	31	車歩道境界ブロックの2cmの段差は、簡易型電動車いすでは衝撃が大きく、ユニバーサルデザインに基づいた道路整備に合致していない。	原案どおり
	32	車いすが、歩道と車道を安全・安心に通れるよう、歩車道境界ブロックの一部(1m幅)をフラットにし、視覚障がい者と車いすユーザー等が共生できる道路整備に取り組んで欲しい。	原案どおり
柱2：公共交通を活かす道づくり（3件）			
	33	バス停の屋根は、ベビーカーが濡れないよう、今よりも広く設置して欲しい。	原案どおり
	34	バス以外の公共交通機関の利用環境も改善して欲しい。	記載あり
	35	幹線道路の第1車線にあるタクシー乗り場を見直して欲しい。	原案どおり
柱3：自転車と共生する道づくり（16件）			
	36	自転車通行空間について、本文中に原則車道に整備すると明記してはどうか。	●修正
	37	車道が狭く、歩道を自転車が走行していることも多いため、車道に自転車専用レーンを整備するか、歩道内に自転車通行帯を整備して欲しい。	原案どおり
	38	車道混在(矢羽根)は、交通量が多い箇所では危険であり、歩道に歩行者道、自転車道を分けて整備したほうが良い。	原案どおり
	39	幹線道路では、歩道や車道に自転車レーンが整備されているが、生活道路においても自転車通行空間を整備して欲しい。	原案どおり
	40	自転車通行帯の設置を推進して欲しい。	記載あり
	41	車道内共存や車道混在(矢羽根)による整備ではなく、歩道を拡幅し、歩道内に人と自転車や、車などを分離する整備に取り組んで欲しい。	原案どおり
	42	引き続き、自転車通行空間のネットワーク強化を推進して欲しい。	記載あり
	43	明治通りのような自転車道の整備を積極的に推進して欲しい。	原案どおり

- 修正 ……意見の趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり ……原案の修正がないもの
- 記載あり ……意見の趣旨がすでに原案に盛り込んであるもの

分類	No.	意見要旨	対応
柱3: 自転車と共生する道づくり (16件の続き)			
	44	自転車事故の発生原因の分析や研究はされているのか。 自転車空間の整備を進めて欲しい。	記載あり
	45	車道混在型(国道道路など)は怖くて走れないので、自転車通行空間を確保して欲しい。	原案どおり
	46	自転車レーンの整備にあわせて、逆走防止にも取り組むべき。	●修正
	47	バスと自転車の安全性を高めるため、バス停付近での自転車レーンの在り方を検討すべき。	原案どおり
	48	コロナ禍によるバイク通勤需要の増加に伴い、路上駐輪が増加していると思われるため、125ccも駐輪できる駐輪場を多く整備して欲しい。	記載あり
	49	自転車が車道を走行することが危険だと感じた場合には、歩道内を通行できることを、交通安全教室やテレビ、SNS を活用し、周知していくことが重要。	●修正
	50	シェアサイクルの利用推進により、自転車利用が増加することは良いが、マナーが悪い利用者に対して、マナー向上の対策に取り組んで欲しい。	●修正
	51	狭い道路や自転車事故多発区間には、石畳のような、歩行者の妨げにならない程度の凹凸を取り入れた、自転車減速システムを導入してはどうか。	原案どおり
ビジョン2: 都市の魅力に磨きをかける道づくり(25件)			
柱4: 経済活動を支える道づくり (11件)			
	52	自動車専用道路の早期着工・整備を期待する。	記載あり
	53	トラックが通行しても安全が確保されるよう、幹線道路の拡幅をして欲しい。	記載あり
	54	都市計画道路の整備率は、政令市の中で1番を目指すくらいの記述が欲しい。	原案どおり
	55	整備路線の優先順位などを明確に示し、都市計画道路の整備率向上に取り組んで欲しい。	●修正
	56	九州大学周辺のまちづくりが進められ、九州大学へのアクセスが格段に便利になったが、九州大学周辺から姪浜を繋ぐ長垂道路(国道202号)や福重までを繋ぐ(国道202号バイパス)は慢性的な渋滞が起っており、街と街を繋ぐ道路状況は改善されていないので改善して欲しい。	原案どおり

- 修正 ……意見の趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり ……原案の修正がないもの
- 記載あり ……意見の趣旨がすでに原案に盛り込んであるもの

分類	No.	意見要旨	対応
柱4:経済活動を支える道づくり (11件の続き)			
	57	九州の顔として広域的な観点から取り組んでいる事業は無いのか。	記載あり
	58	特別支援学校の子供たちは、乗り降りにとっても時間がかかるのでバス停カットに停車が出来る様、検討して欲しい。	原案どおり
	59	渋滞の解消は道路利用者の満足度向上だけでなく、地域の交通安全、生活上の安心(抜け道対策、緊急自動車等走行)に繋がることから、交通渋滞の解消に重点をおいた施策に取り組んで欲しい。	記載あり
	60	バスの運行やバス停位置が原因となっている交通渋滞等の解消に取り組んで欲しい。	記載あり
	61	慢性的な渋滞を解消して欲しい。(西区野方～拾六町)	原案どおり
	62	交通円滑化のため、連続立体交差事業を雑餉隈駅周辺以外の地域でも行って欲しい。	原案どおり
柱5:まちづくりや多様なモビリティに対応した道づくり (8件)			
	63	都心部でのビルの建替えの際は、セットバックを促し歩行空間や滞留空間を創出してはどうか。	記載あり
	64	電動キックボードが、交通課題の解決に繋がるか不明であり、安全面においても課題がある。	原案どおり
	65	電動キックボードが車道混在型で走行するのは非常に危険である。安全対策について、市の条例等にて枠組みを設ける必要があるのではないのか。	原案どおり
	66	電動キックボードが新たな交通手段となった場合、自転車と同じ扱いになるのか、車両の様に免許制になるのか、また、走行する区間はどこになるのか。	原案どおり
	67	駐車場の集約化で、自動車流入を抑制することはできるのか。自動車が1箇所集まることにより、自動車流入が一気に増えてしまうのではないのか。	原案どおり
	68	渋滞緩和、安全確保のために、営業用貨物自動車専用の駐車場、駐車スペース、パーキングメーター等を設置して欲しい。	原案どおり
	69	民間ビルの建替えの機会には、ビルに荷下ろし、荷捌きスペースの設置をして欲しい。	原案どおり
	70	道路に荷下ろし、荷捌きスペースを設置して欲しい。	原案どおり

- 修正 ……意見の趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり ……原案の修正がないもの
- 記載あり ……意見の趣旨がすでに原案に盛り込んであるもの

分類	No.	意見要旨	対応
柱6:FUKUOKAを楽しむ道づくり (6件)			
	71	市内でも特に来訪者が多く訪れる歩道については、雨の日でも歩きやすいアーケードの設置や、観光案内、歩いて楽しくなるような仕掛けなどを行って欲しい。(唐人町駅～PayPayドーム、呉服町～マリンメッセ福岡など)	原案どおり
	72	博多旧市街において、2箇所石畳風の道路整備をしているが、他の神社仏閣がある道路も同じようにして欲しい。	記載あり
	73	春吉賑わい空間及び夜間の国体道路の有効運用に期待する。	原案どおり
	74	引き続き、都市サインの設置を推進して欲しい。	記載あり
	75	きらめき通りや新天町商店街のように、イベントやレセプションなどに活用できる道路を増やして欲しい。	原案どおり
	76	コロナ禍において飲食店支援として実施した道路の飲食エリアとしての活用は、市民や観光客が多く訪れるエリア(天神・大名、中洲、博多駅周辺など)において、時間を限定して常時開催できるようにして欲しい。	原案どおり
ビジョン3:市民の安全・安心をささえる道づくり(24件)			
柱7:災害に強い道づくり (9件)			
	77	無電柱化は、市民の安全安心を支えるものであり、居住地域を重点的に整備して欲しい。	原案どおり
	78	住宅地等の道路には電柱が乱立し、トランスも多く、景観や災害時、またトランスは健康被害が心配である。	原案どおり
	79	電柱の設置・継続申請には、電話線や太陽光発電などに利用することが記載されているのか。申請に対しての市の考え方や対応状況などを説明して欲しい。 無電柱化を市内全域に展開することは困難だが、電柱を残さざるを得ない地域には、電力供給のみの電柱として欲しい。	原案どおり
	80	道路が狭く電柱が原因で車の離合が困難な箇所が多いため、早期の地中化を希望する。	原案どおり
	81	災害は頻発化や激甚化の傾向にあり、緊急輸送道路の整備および無電柱化の推進は特に重要な施策であることから、両項目とも、進めます。の表現ではなく、重点的に進めます。と明記してはどうか。	原案どおり
	82	トラックが通行する際、電柱が無いことで、道路の見通しが良くなることから、交通事故防止、安全性の向上、死角の削減につながる無電柱化を推進して欲しい。	記載あり
	83	今後のインバウンド対策を考えると、景観に配慮した施策である無電柱化を推進して欲しい。	記載あり

- 修正 …意見の趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり …原案の修正がないもの
- 記載あり …意見の趣旨がすでに原案に盛り込んであるもの

分類	No.	意見要旨	対応
柱7:災害に強い道づくり (9件の続き)			
	84	無電柱化については、低コスト手法の検討に取り組むだけでなく、必要な投資額の確保したうえで、頻発する災害に対応可能なスピード感のある整備を進めてもらいたい。また、市民の理解促進にも力を入れるべき。	記載あり
	85	電柱が支障になっているため、生活道路においても無電柱化を進めて欲しい。	原案どおり
柱8:環境に配慮した道づくり (6件)			
	86	引き続き、道路照明灯のLED化を推進して欲しい。	記載あり
	87	道路緑化について、季節によって樹木を植え替えて、季節感を出して欲しい。	原案どおり
	88	防音効果、粉塵吸着作用、生物の生息空間の拡大およびヒートアイランド現象の緩和など、道路緑化への過大な期待だと思う。	原案どおり
	89	街路樹が植えてある道路用地は、自転通行空間へ転換した方が、市民が求める優先順位が高い現実的な施策だと考える。	原案どおり
	90	都市部のヒートアイランド対策として、施工技術が格段に向上し、東京五輪にも採用された「遮熱性舗装」の普及を主要施策に追加すべき。	原案どおり
	91	街路樹も道路空間を構成する一要素であり、管理に十分な予算を確保すべき。	原案どおり
柱9:次世代に繋ぐ道づくり (6件)			
	92	雪がとけたあともチェーンを付けたまま走行している車両が原因で道路が痛んでおり、運転に不安を感じる。	原案どおり
	93	長期的な目線での維持管理の検討も大事だが、既に危険で早急な対応が必要なところも多いので、維持管理費を増額すべき。	原案どおり
	94	道路照明灯のLED化が進んでいるのは良いが、バス通り等の主要道路において老朽化による照明灯の不点灯を削減して欲しい。	原案どおり
	95	道路上への段差解消ブロックを設置する人が多く、市民への周知が不十分である。全戸配布の広報誌にチラシを挟み込む他、該当家屋への定期的な啓発活動(チラシ投函)を行う等、違反者であることを認知させるための具体的な対策についてもアクションプランに盛り込み、道路利用の適正化を促進して欲しい。	原案どおり
	96	景観整備を行った道路について、地下埋設物の更新等により、舗装がつぎはぎにならないか心配している。また、景観整備を行った道路について、舗装復旧が困難である等の理由で、老朽化した地下埋設物が更新されない状況にならないか心配している。	原案どおり

- 修正 ……意見の趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり ……原案の修正がないもの
- 記載あり ……意見の趣旨がすでに原案に盛り込んであるもの

分類	No.	意見要旨	対応
柱9:次世代に繋ぐ道づくり (6件の続き)			
	97	融雪剤散布体制の構築等、雪に強い道路素材や橋梁対策等が必要ではないか。	原案どおり
柱10:みんなで守る道づくり (5件)			
	98	引き続き、防犯灯のLED化を促進して欲しい。	記載あり
	99	市民等による道路の見守りについて、バス・タクシー事業者、トラック等運送事業者との協力体制の構築を検討してはどうか。	原案どおり
	100	LINEは、登録が見込めないと思うので、通報先(電話など)の情報をもっと周知して欲しい。	記載あり
	101	LINEで危険箇所を通報できるということを、多くの市民に周知した方が良い。	記載あり
	102	街中に花壇が増えて欲しい。	記載あり
その他 (7件)			
	103	道路占用によるバス停上屋やベンチについて、老朽化して更新する際に、歩道幅員が設置基準に満たない場合建替えが出来ず、撤去のみになってしまう。	原案どおり
	104	通学路の歩車分離や自転車通行区間の整備においては、市民に対する意識付けや啓発を今後どのように展開するかが重要。	原案どおり
	105	アクションプラン2020では4年間の成果指標の数値が示されていたが、今回はなぜ示されていないのか。 市民がアクションプランの目標達成を実感できる「数値目標」は必要。	原案どおり (最終案で対応)
	106	ラストワンマイルとは何か記載して欲しい。	原案どおり (成案で対応)
	107	アクションプラン2020と同様に、計画期間に整備予定の幹線道路の地図と進捗状況を記載したほうがわかりやすい。	原案どおり (最終案で対応)
	108	同じ系統番号のバスで、終点が異なるケースを改善して欲しい。	原案どおり
	109	都市高速道路の渋滞対策についても記載されると円滑な道路利用につながると思う。	原案どおり